

「海の出前授業」派遣レポート

都道府県	佐賀県（オンライン）
派遣先（団体名）	佐賀県立武雄青陵中学校
授業タイトル	気候と海
講師名	土井威志（海洋研究開発機構）
派遣年月日	2021 年 7 月 6 日

派遣者コメント

佐賀県立武雄青陵中学校では、中学 3 年生の総合的な学習の時間を活用して、学年の一部の生徒向け（59 人）に自然探究という探究活動を行っている。この活動は、自らテーマを設定して研究を進めていく中で、課題を発見する力、課題を探究する力、課題を解決する力、表現し伝える力等を成長させるために行っているものである。その学習の一環として、出前授業を実施した。Teams を使ったオンラインで開催した。体育館に 60 人程度の生徒が集まり、スクリーンに映像が映されるといった形式であった。生徒自身が司会を担当し、私の紹介から講演、休憩、質問、最後に簡単な感想とお礼までの流れを、スムーズに進行して頂いた。

講演は要望通り、

10：40～11：30（50 分）

- ①気候と海について
- ②気候変動について
- ③研究している内容について
- ④今年始まった「国連海洋科学の 10 年」の紹介

11：30～11：40（10 分）

休憩

11：40～12：10（30 分）

- ④研究に取り組む際に大切なこと
（科学者になる喜び、科学者としての心構え等）

12：10～12：30（20 分）

質疑応答

といったスケジュールで実施した。

前半は、地球の熱収支から、海洋の熱容量、エルニーニョと地球温暖化の違いや、季節予測について解説した。また、SDGs の達成に寄与する研究テーマを設定しようとしている生徒が非常に多く、海、気候変動、食料・水の問題などに興味や関心が高い傾向にあるということで、その辺りも解説した。

後半は、研究とはどのようなものであるのか、科学者のキャリアパスなどについて雑談した。参加した生徒は、将来大学に進学し、理系の進路につく割合が多いらしいので、その辺りを意識して解説した。質問時間では、10 人程度の生徒が、授業の感想と共に、非常に鋭い質問などをしてくれた。

授業ののち、生徒1人1人の感想文を送って頂いた。多くの生徒が、海が地球温暖化を抑えてくれている話、その一方で、海に異変が起き始めている話に、興味を持ったようである。また、自然変動であるエルニーニョと、人為起源とされる温暖化との、違いを整理したのも面白かったようである。このような活動を通して、若い人たちに、海洋についてのリテラシーを持ってもらえれば、大変幸いである。